

都市緑化技術特論 (2単位)

担当者氏名 近藤三雄・水庭千鶴子・高橋新平

◆学習・教育目標

近年、大きな社会問題となっている温暖化やヒートアイランド、あるいは景観対策の切り札として、広範な都市緑化のあり方や技術の展開を内外の実践事例を基に概説する。さらには屋上、壁面、室内、外構などの建築空間域に特定し、その緑化の歴史の変遷、効果についての科学的データ、ならびに内外における関連施策・事業、事例、デザイン手法あるいは関連研究の成果等について実際の事業者や設計者等とのディスカッションも含め、講義する。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

都市緑化 緑化技術 緑化施策

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	概説（第1週）	本講義の総括的内容解説	日々新たに展開する都市緑化施策・事業、そこに導入される手法や技術、その裏付けとなる研究成果さらに施工された事例ならびに期待される効果の最先端を学ぶ。
2	都市緑化施策・事業の最先端（第2、3週）	都市緑化における最先端の施策や事業について内容を学び、緑化のあり方について知見を広げる。	
4	都市緑化手法・デザイン技術の最先端（第4～6週）	都市緑化における最先端の緑化手法ならびにデザインについて学ぶ。	
7	都市緑化技術研究の最先端（第7～9週）	都市緑化における最先端の技術研究を通して、現在の課題を学び、解決策の検討等を議論する。	
9	都市緑化事例の最先端（第10～12週）	最先端の緑化事例を学び、新たな潮流、あり様について議論する。	
11	都市緑化の効果と評価の最先端（第13、14週）	都市緑化の効果および評価について、新たな研究や事例を学ぶ。	
13	総括（第15週）	本講義のまとめ	
14			
15			

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

_____ / _____ / _____ (_____)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

_____ / _____ / _____ (_____)

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

毎回の講義の理解度を加味し、課題による評価を行う。

◆その他受講上の注意事項
